

## (4) 流入人口

イオンは、商圏人口を20～25万人としており、能代山本地区のほか、大館市、北秋田市、男鹿市、南秋田郡や青森県の一部も商圏していると予測される。

### ①買回品の商圏

買回品について、能代市に買い物客の流入が予測される市町村の平成16年の人口とその消費動向は次のとおりである。(別紙1表1)

(1) 商圏として想定される市町村の全人口： 約238,000人

(2) 商圏として想定される市町村の消費動向

能代市で買回品を購入する人口： 約80,000人

地元市町村で買回品を購入する人口： 約70,000人

能代市と地元市町村以外で買回品を購入する人口： 約88,000人

イオンの進出により流入人口に次のような変化が生じることが予測される。

- ・これまで、能代市に流入せず、地元市町村で買い物をしてきた買い物客の流入が予測される。
- ・能代市や地元市町村から秋田市や大館市など他の市町村へ買い物をしてきた買い物客の流入が予測される。

#### 〈仮定〉

買回品の平成16年の能代市以外での購買人口は約158,000人であり、仮に、イオン進出後に能代市に流入する人口の割合を15%～30%の範囲内で想定すると、増加人口は約23,700人～約47,400人になると推計される。

これに、能代市の平成16年の買回品購買人口80,349人を加えると、イオン進出後の買回購買人口は約104,000人～約127,700人の範囲になると推計される。(別紙1表2)

### ②最寄品の商圏について

最寄品について、能代市に買い物客の流入が予測される市町村の平成16年の人口とその消費動向は次のとおりである。(別紙2表1)

(1) 商圏として想定される市町村の全人口： 約238,000人

(2) 商圏として想定される市町村の消費動向

能代市で最寄品を購入する人口： 約80,000人

地元市町村で最寄品を購入する人口： 約97,000人

能代市と地元市町村以外で最寄品を購入する人口： 約61,000人

〈 仮 定 〉

最寄品については、イオン進出後の買回品購買人口から平成16年の能代市の最寄品購買人口を減じたものを仮に最寄品購買予備人口とすると、約24,500人～約48,200人と推計される。

これに、最寄品を購入する割合25%を乗じて得た予備人口の最寄品を購入する人口を推計し、これに平成16年の能代市の最寄品購買人口79,500人を加えたものをイオン進出後の最寄品購買人口として推計すると、約85,600人～約91,600人となる。(別紙2表2)

## (5) 商業への影響

イオンの進出による地元商業への影響を見極めることは困難である。

ただし、イオン盛岡SCの例から、既存店への影響は5%～10%程度であると推測される。

また、イオンの出店予定地は、市内の東部に位置し、秋田自動車道のIC、広域農道とも近接する能代山本圏域における交通の要衝と言える地域である。また、モール型SCは多くの専門店が入り、ショッピング以外のサービス機能も充実する計画となっており、これまでの商圈やこれを超える広範な地域からの集客が予測される。

このため、イオン進出は、新たな流入人口を生み出すことになる。立地場所が近く、車社会対応型店舗という共通要素を持ち合わせている国道7号沿線の大規模小売店等との間で競合が発生するものと予測される。

また、中心部商店街では、食料品、生活雑貨等の最寄品を取り扱う小売店、衣料品、時計・メガネ等の専門店及び飲食店を中心に買い物客を集めている。なかには、昔からの顧客や徒歩・自転車圏内の客といった固定した買い物客により営業を続けている店舗もある。イオン進出により、中心部商店街の専門店等とも競合が発生すると予測される。